



琴清苑だより



発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第25号



羽黒三田神社囃子振興会によるお囃子の披露（9月19日敬老の日にて）

介護保険法が 改正になりました

「あいさつ」
介護支援専門員 佐々木健児

秋風が恋しかった夏も、お彼岸を過ぎ
虫のオケストラの音を聞きながらいよ
いよ秋本番になってまいりました。奥多
摩の山々もすぐに真っ赤に色づき秋の装
いになって来ます。

季節の移ろいとは異なりますが、平成
17年10月1日より介護保険法が改正され、
特別養護老人ホームの利用料の食費、
居住費が自己負担に変更されます。これ
は在宅でサービスを受けている方と施設
でサービスを受けている方との給付と負
担が公平になるための改正です。具体的
には食事と居住に対する費用を保険給付
の対象外とするものです。所得の低い利
用者の皆様には負担の額が低くなるよう
な補足的給付が設けられます。平成18年
4月に抜本的な介護保険の改正が行われ
ますが、介護保険からの給付費用が増大
していることを勘案し、保険制度の持続
が可能になるように前倒しされ今月から
改正されました。

今回の居住費は入居されている居室の
形態によって負担額が異なりますが、琴
清苑では多床室ということので1日320
円の負担になります。ただし生活保護受
給者は負担が減額され0円となります。
食費は1日1,380円の負担になり
ます。これも収入に応じ3段階の補足的
給付が行われます。このたびの介護保険
法の改正により多くの利用者、ご家族の
皆様の負担が増えますがご理解願いま
す。

平成12年4月の介護保険導入から施設
の運営や事業が大きく変化してきていま
す。施設に対して事業コストの効率化が
要求され、競争の中からもサービスが向
上するようになってきました。時代の波に
もまれながらも、福祉施設はその社会性
を忘れずに活動を行っています。これか
らも皆様に理解していただき愛されるよ
うな福祉施設であり続けたいと思います。

平成17年10月から介護保険施設等の利用料が変わります

この度の介護保険法の改正に伴い、17年10月から特別養護老人ホーム・ショートステイの居住費（ショートステイの場合は滞在費）と食費が介護保険の対象から外れ、自己負担いただくことになり、現在ご入所されてます利用者様と交わしております【契約書、契約書別紙】に関しまして、内容の変更が発生していることから再契約が必要となりました。（別途お知らせ申し上げます。）

自己負担となる理由

同じ要介護状態の人でも、**在宅で生活する方**は、サービス利用の1割負担2.1万円のほかに、食費の3.1万円や居住費としてアパート代や光熱水費 5.2万円を負担しており、その総額は全国平均で約10万4,000円になります。
一方で、**施設に入って生活している方**の負担は、サービス利用の1割負担3万円と食料費2.6万円の計約5万6,000円です。
このように、在宅で生活する方と施設に入って生活している方の費用負担におよそ2倍程度の差が生じているため、この不均衡を是正するものです。

新負担額の目安

・介護保険施設（特別養護老人ホーム）

区 分		費用の内容	月額（円）
居住費	相部屋(多床室)	光熱水費相当	10,000
食 費		食材料費及び調理に係る費用相当	42,000

・ショートステイ（短期入所生活介護）

区 分		費用の内容	月額（円）
居住費	相部屋(多床室)	光熱水費相当	320
食 費		食材料費及び調理に係る費用相当	1,380

負担額の軽減制度

① 負担額の段階設定

居住費と食費の負担額は、過重な負担とならないよう課税状況や年金収入の状況に応じて4段階に区分されており、第1段階から第3段階までの方は、下表のように申請により減額されます。

介護保険施設における段階区分別負担額 【単位：円】（月額概数）

段 階 区 分		居住費	食 費		所 得 区 分	上 限 額	
所 得 区 分		利用料 負担段階	相部屋 (多床室)				
市 町 村 民 税	世帯課税者	第4段階	10,000	42,000	市町村民税世帯課税者	世帯で37,200円	
	世帯非課税者	合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円超	第3段階	10,000	20,000	利用料負担段階第3段階	世帯で24,600円
		合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下	第2段階	10,000	12,000	利用料負担段階第2段階	世帯で15,000円
		高齢福祉年金受給者	第1段階	0	10,000	市町村民税世帯非課税の 高齢福祉年金受給者	世帯で15,000円
生活保護受給者等	生活保護受給者等	世帯で15,000円					

② 高額介護サービス費の支給

1か月の介護サービスの1割負担の合計額が所得に応じた一定の上限額を超えた場合には、超えた分が申請により払い戻されます。

③ 平成12年4月1日以前から特別養護老人ホームに入所されている方で、利用者負担割合が5%以下に軽減されている方は、平成17年10月以降も従来の負担額を上回らないよう軽減されます。

④ その他に、高齢者夫婦世帯で配偶者が個室に入った場合や、利用料が負担できなく生活保護が必要となる方への負担軽減制度がありますのでご相談ください。

お知らせ

平成17年10月の介護保険制度の改正に伴い、平成13年4月より実施してまいりました『社会福祉法人等による生活困難者に対する利用者負担額減免措置事業』については9月末日をもって廃止しますのでお知らせいたします。

第二十九回敬老感謝祭



9月19日の敬老に日に第29回敬老感謝祭が行われました。式典に於いては利用者皆様、日頃健康に過ごされる事をお祝いし、演芸の披露では普段よりも明るく楽しそうな笑顔を見せる方もいました。また、模擬店では面会に来られたご家族や曾孫と回らんの一時を過ごされました。

今年は、例年よりご家族の面会も多く、模擬店も大盛況でした。年に一回の大きな催し物でしたが、来年は更に楽しく過ごせる感謝祭になる様、職員一同努力したいと思っております。

(左写真は記念式典の様子)



祝い膳
昼食にはお祝いの善を頂き普段とは違った味を楽しみました。



記念品の贈呈
記念式典にて、今年長寿のお祝いの様子です。(写真左)還暦から卒寿まで17人の利用者の方がお祝いされました。



パズル・シール・お面等、色々なオモチャが販売されました。



売店
玄関横にて売店を行いました。おもちゃ等を特別価格にて販売し、皆様に喜んで頂けた事と思っております。



演芸
毎年、ご家族・利用者の方が楽しみにしている演芸では、西川寛之祐会による踊り、羽黒三田神社囃子振興会のお囃子が披露されました。



勤続10年表彰
小川栄喜相談員が勤続10年の表彰を受賞されました。これからも利用者処遇向上に頑張ってください。



焼き鳥・焼きそば・パンダ焼き等が販売されました。



模擬店
今年も地元商店街のダーナの会の皆様にも模擬店を行って頂きました。

ドクター中野の星のおはなし No.18

星の誕生と終末あれこれ

永久の輝きをみせると思われる星々も、時の流れと物理的な法則はすべてを消し去る。一千億年も生きるという星々の誕生と終末をちょっと覗いてみよう。

人間にとっては、気が遠くなるほどの時間も宇宙の尺度からみれば、星の一生はほんの一瞬にしかすぎない。

星の誕生はどこだろう。そして材料はなにかという問いに天文学は天の川近くの「暗黒星雲」が母親で、ここに星を作るもとになる水素ガスだの塵のふきだまりのようなどころだと説く。

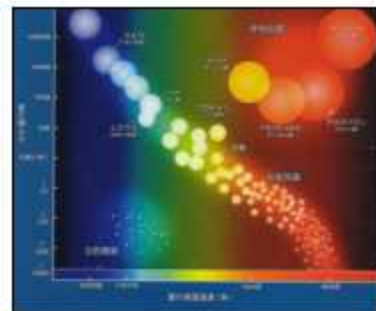
これからこのふきだまりも重量を持つようになり幾多の変化を経て星になる準備がととのえられ、初期の段階まで成長した星が数千万年かかり、中心部の温度が1000万度をこえたころ水素の核融合反応が起こりようやく一人前の恒星となり自ら光と熱を出す。この核融合反応は水素原子四個が合体してヘリウム原子に変わり、このとき出たエネルギーが発生する。(HR 図)

星の進化をグラフで図示したもので、天文学者でデンマークのヘルツシュェブルグとアメリカのラッセルによる合作で太陽をふくみ同じくらい星が、この図の左上から右下にかけておかれた星ぼしは主系列星といわれ安定した核融合の下に一生を終えることができる。太陽はこのグラフの中で46億歳とみられているが寿命100億歳としては活動時代といえる。

この図で分かることは青白く輝く高温の星は青年期の星で、右下にのびして温度は低くなり右上のグループに移る。主系列で安定した『輝ける時』を過ぎたらしも時間と共に老境への道をたどりはじめるのは、どの星ぼしも平等である。水素をもやしてヘリウムが中心部にたまってくるとやがてヘリウムだけになってしまふ、何かと輝きを保つためヘリウムまで手をつけてはみるが老の悲しさもうつぶれそうになると外側に向かい、ふくらませてバランスをとろうとする。次第次第に大きくなり、温度は下ばかり赤色巨星とよばれる。

(HR 図) 右上の星の仲間にされてしまうと星の中心部は収縮、外側はふくらむところから大量のガス等々みな本体から離れてしまい残された高温の小さな星は白色矮星と呼ばれ紫外線によって照らし出され惑星に似ているので惑星状星雲とよばれる。つまり星の亡影である。望遠鏡で綺麗に見える矮星というのは、ほんとうに小さく地球ぐらい星しかない、年老いた星が自ら縮んで小さくなり高い密度も余熱のある間だけでやがては冷えてしまい、黒色矮星となって暗黒の宇宙へと消滅の道をとどる。

(HR 図)にのせられた星は一定の条件の下で生を終えた安定した生活であったが、例外もかなり多い。たとえば木星は重量不足で恒星になれなかった例である。またようやく細々とどうにか火をとぼす核融合反応ができる太陽より軽い星、赤色矮星、褐色矮星など寿命は長く、やがて冷え姿を消す。他に重量級で重さ太陽の8~30倍くらいの星は赤色超巨星となり超新星の爆発を犯し中性子星となったり太陽の30倍くらいのは超新星爆発となりブラックホールを作る等々話題は豊富である。爆発した残影はやがて若い星々の誕生の材料になる。



写真上 HR 図



写真右 (上下2点) 惑星状星雲の例

を彼を
通動岸
10月花
からい
ご理の
解介赤
ご解が
協保美
力法映
改正日
正の
につい季節
の街
道

編集後記



シート交換
指山初・馬場静子
指圧奉仕
奥多摩奉仕会



ボランティア状況(7月~9月)

(敬称略)

7月	7月	8月	9月	9月
板橋区	台東区	台東区	台東区	世田谷区
1名	1名	1名	1名	1名

入死された利用者(7月~9月)

10月	11月	12月
3日	11日	16日
運動会	お寿司の日	忘年会
15日	21日	22日
十三夜	お寿司の日	忘年会
18日		
忘年会		



行事予定